

### ◆上半期の一般会計予算執行状況

上半期（9月末）の執行状況は収入額が67億9,942万2千円で（収入率46・19%）支出額が50億6,755万7千円（執行率34・42%）となっております。

歳入については、国からの地方交付税の収入が上半期に多くなる反面、国・県支出金や町債（借入金）については、補助事業等の関連から下半期に多くなる傾向にあります。また、歳出についても、災害復旧事業や災害関連経費を含め、建設工事や補助事業等が完成払いとなるため、下半期に多く支出されます。

### ◆町の借入金（町債）と返済額（公債費）

平成17年度末の借入残高は、236億2,510万3千円と一般会計の年間予算規模を上回る大きな金額となっております。これに伴う平成18年度の返済額（公債費）は、30億8,879万9千円となりますが、借入金の種類によって返済金の一部が国からの地方交付税に加算されています。

### ◆本町の財政状況について

本町の財政状況を自分たちの家計にたとえてみると・・・

① **一般財源（町が自由に何でも使えるお金）が減っています。**  
毎月の給料が減るといふことで、やりくりしようとする

と、借金をするか貯金を下ろすか、支出を切り詰めるかとなります。

② **経常収支比率が高くなっています。**

食費、光熱水費、ローンなど毎月必ず必要な生活費の割合は高いということです。逆にいえば自由に使えるお金が少ないということになります。

③ **公債費（借入金の返済金）が増えていきます。**

住宅ローン、自動車ローン等の返済金にあたります。

このように、収入が減る一方で、借入金の返済金などが増えてきているため、不足財源を貯金（基金）の取り崩しで対応してきましたが、貯金にも限りがあるため、全般を見直す必要があります。（新たな借入金の抑制など）

### ◆基金の状況

基金名	金額（千円）	基金名	金額（千円）
財政調整基金	983,948	土地開発基金	104,236
減債基金	152,035	特別導入事業基金	19,343
住宅新築資金等貸付町債償還基金	8,495	奨学資金貸付基金	30,107
退職手当組合特別負担金基金	95,347	国民健康保険基金	471,521
公営住宅建設基金	100,675	高額療養資金貸付基金	10,000
庁舎建設基金	213,687	介護保険給付費準備基金	37,875
一般廃棄物処理施設等維持補修基金	204,680	薩摩診療所運営基金	58,548
		合計	2,490,497

## 平成18年度水道事業の上半期執行状況

平成18年度上半期の水道事業の概要は次のとおりです。

◆平成18年度上半期業務量（平成18年9月30日現在）

科目	上水道事業		簡易水道事業	
	18年度予定	18年9月末	18年度予定	18年9月末
給水件数	4,701件	4,700件	5,619件	5,629件
総給水量	1,177,022m <sup>3</sup>	561,569m <sup>3</sup>	1,332,541m <sup>3</sup>	668,942m <sup>3</sup>
1日平均給水量	3,224m <sup>3</sup>	3,068m <sup>3</sup>	3,650m <sup>3</sup>	3,655m <sup>3</sup>

◆平成18年度上半期執行状況（平成18年9月30日現在）

（単位：千円）

科目	上水道事業			簡易水道事業		
	予算額	執行額	執行率	予算額	執行額	執行率
収益的収支	162,613	73,085	47.5%	292,486	108,959	37.2%
収益的支出	154,921	44,269	28.6%	284,989	81,800	28.7%
資本的収支	2,201	0	0.0%	47,799	0	0.0%
資本的支出	34,588	8,021	23.2%	171,387	56,731	33.1%